＜業務用＞

危　　険

危険有害性情報:
- ・可燃性液体
- ・飲み込むと有害
- ・皮膚に接触すると有害
- ・吸入すると有害
- ・皮膚刺激
- ・強い眼刺激
- ・吸入するとアレルギー，ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
- ・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
- ・遺伝性疾患のおそれ
- ・発がんのおそれ
- ・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
- ・授乳中の子に害を及ぼすおそれ
- ・臓器の障害
- ・呼吸器への刺激のおそれ
- ・眠気又はめまいのおそれ
- ・長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害
- ・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
- ・水生生物に毒性
- ・長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き:

［安全対策］
- ・使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・容器を密閉しておくこと。
- ・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
- ・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- ・呼吸用保護具を着用すること。
- ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・取り扱い後は手及び身体をよく洗うこと。
- ・妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。

［応急処置］
- ・飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
  無理に吐かせないこと。
- ・皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
  皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
  汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
- ・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
  呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
  気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること。
- ・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
  その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
- ・ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
- ・火災の場合:消火するために炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用すること。
- ・漏出した場合:漏出物を回収すること。

［保管］
- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
- ・子供の手の届かないところに保管すること。

［廃棄］
- ・内容物や容器を廃棄する場合は，都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

［その他］
- ・使用済みウエス、塗料かす、スプレーダスト等は、水のはった容器に保管すること。
- ・指定された以外の材料と混合しないこと。
- ・呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を使用する作業に携わらないこと。

取り扱いに際しては、安全データシート（ＳＤＳ）に従ってください。

指針番号	127
国連番号	該当しない

＜備考＞

・今後、新たな情報を入手した際には、内容変更される場合のあることをご了承ください。

＜GHSラベル様式ーWーH＞

＜業務用＞

危　　険

危険有害性情報:
・可燃性液体
・飲み込むと有害
・皮膚に接触すると有害
・吸入すると有害
・皮膚刺激
・強い眼刺激
・吸入するとアレルギー，ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
・遺伝性疾患のおそれ
・発がんのおそれ
・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
・授乳中の子に害を及ぼすおそれ
・臓器の障害
・呼吸器への刺激のおそれ
・眠気又はめまいのおそれ
・長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害
・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
・水生生物に毒性
・長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き:
［安全対策］
・使用前に取扱説明書を入手すること。
・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・容器を密閉しておくこと。
・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
・呼吸用保護具を着用すること。
・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
・取り扱い後は手及び身体をよく洗うこと。
・妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
・環境への放出を避けること。
［応急処置］
・飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
・皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
・火災の場合:消火するために炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用すること。
・漏出した場合:漏出物を回収すること。
［保管］
・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
・子供の手の届かないところに保管すること。
［廃棄］
・内容物や容器を廃棄する場合は，都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
［その他］
・使用済みウエス、塗料かす、スプレーダスト等は、水のはった容器に保管すること。
・指定された以外の材料と混合しないこと。
・呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を使用する作業に携わらないこと。
取り扱いに際しては、安全データシート（ＳＤＳ）に従ってください。

指針番号 127
国連番号 該当しない

＜備考＞
・今後、新たな情報を入手した際には、内容変更される場合のあることをご了承ください。
＜GHSラベル様式ーWーH＞

＜業務用＞

危　　険

危険有害性情報:
・可燃性液体
・飲み込むと有害
・皮膚に接触すると有害
・吸入すると有害
・皮膚刺激
・強い眼刺激
・吸入するとアレルギー，ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
・遺伝性疾患のおそれ
・発がんのおそれ
・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
・授乳中の子に害を及ぼすおそれ
・臓器の障害
・呼吸器への刺激のおそれ
・眠気又はめまいのおそれ
・長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害
・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
・水生生物に毒性
・長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き:
［安全対策］
・使用前に取扱説明書を入手すること。
・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・容器を密閉しておくこと。
・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
・呼吸用保護具を着用すること。
・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
・取り扱い後は手及び身体をよく洗うこと。
・妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
・環境への放出を避けること。
［応急処置］
・飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
・皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
・火災の場合:消火するために炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用すること。
・漏出した場合:漏出物を回収すること。
［保管］
・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
・子供の手の届かないところに保管すること。
［廃棄］
・内容物や容器を廃棄する場合は，都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
［その他］
・使用済みウエス、塗料かす、スプレーダスト等は、水のはった容器に保管すること。
・指定された以外の材料と混合しないこと。
・呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を使用する作業に携わらないこと。
取り扱いに際しては、安全データシート（ＳＤＳ）に従ってください。

指針番号 127
国連番号 該当しない

＜備考＞
・今後、新たな情報を入手した際には、内容変更される場合のあることをご了承ください。
＜GHSラベル様式ーWーH＞

＜業務用＞

危　　険

危険有害性情報:
・可燃性液体
・飲み込むと有害
・皮膚に接触すると有害
・吸入すると有害
・皮膚刺激
・強い眼刺激
・吸入するとアレルギー，ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ
・アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
・遺伝性疾患のおそれ
・発がんのおそれ
・生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
・授乳中の子に害を及ぼすおそれ
・臓器の障害
・呼吸器への刺激のおそれ
・眠気又はめまいのおそれ
・長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害
・飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
・水生生物に毒性
・長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き:
［安全対策］
・使用前に取扱説明書を入手すること。
・全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
・容器を密閉しておくこと。
・熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
・屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
・保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
・呼吸用保護具を着用すること。
・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
・取り扱い後は手及び身体をよく洗うこと。
・妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
・環境への放出を避けること。
［応急処置］
・飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。
無理に吐かせないこと。
・皮膚に付着した場合:多量の水と石けん(鹸)で洗うこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合:医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。
・吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合:医師に連絡すること。
気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること。
・眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合:医師の診察/手当てを受けること。
・ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。
・火災の場合:消火するために炭酸ガス、泡又は粉末消火器を使用すること。
・漏出した場合:漏出物を回収すること。
［保管］
・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。施錠して保管すること。
・子供の手の届かないところに保管すること。
［廃棄］
・内容物や容器を廃棄する場合は，都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
［その他］
・使用済みウエス、塗料かす、スプレーダスト等は、水のはった容器に保管すること。
・指定された以外の材料と混合しないこと。
・呼吸器や皮膚が敏感なアレルギー体質の方は、この塗料を使用する作業に携わらないこと。
取り扱いに際しては、安全データシート（ＳＤＳ）に従ってください。

指針番号 127
国連番号 該当しない

＜備考＞
・今後、新たな情報を入手した際には、内容変更される場合のあることをご了承ください。
＜GHSラベル様式ーWーH＞